

年頭のご挨拶

在フィリピン日本国大使

越川 和彦



マニラ日本人会の皆様、

新年あけましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

マニラ日本人会の皆様方には、平素より日本大使館の活動に格別のご支援・ご協力を賜り、心より感謝いたします。

昨年は、2月のマルコス大統領の訪日に続き、11月初旬には岸田総理がフィリピンを訪問され、日・フィリピン両首脳間で、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を維持・強化し、人間の尊厳を確保するために緊密に連携していくことが確認されました。また、日本の総理大臣として初めて上下両院合同議会において、「次世代に繋ぐ心と心の絆」と題する政策スピーチを行いました。更に、昨年は日本とASEANの友好協力関係も50周年を迎え、12月にはフィリピンをはじめ各国の首脳を東京にお迎えし、特別首脳会議が開催されました。今や日本とフィリピンの関係は、「黄金時代」から新たな高みへ発展を遂げようとしています。

今日、日本とフィリピンの関係は、人的交流、経済、文化、安全保障はじめ幅広い分野において協力関係を深め、かつてないほど強い信頼関係で結ばれています。

改めて申し上げるまでもなく、日・フィリピン関係の発展に

は、民間企業そして留学生を含む幅広い人的交流、文化交流が極めて大きな役割を果たしてきました。また、それなくして今日の日・フィリピン関係はあり得ませんでした。

在留邦人の皆様がそれぞれの分野・地域で活躍されている中で、ここフィリピンにおいて日本人同士の親睦と交流を担ってこられたマニラ日本人会の存在は、日本人社会のより所として大変大きな支えになってきました。マニラ日本人会の活動は、在留邦人の皆様に活力を与え、引いては日・フィリピン関係にも寄与するものです。

昨年は、世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染が沈静化し、日・フィリピン双方において水際措置も解除されました。減少傾向が続いていた日本人会会員、日本人学校の児童・生徒、在留邦人数、日系企業数なども、徐々に増加に転じています。今年は、当地の日本人社会が一日も早くコロナ禍以前の姿に、そして一層活発になることを願っております。

マニラ日本人会におかれても、各種の行事や同好会の活動が活発化し、盆踊り大会、ゴルフ大会、フィエスタ・スポーツ大会、文化祭などの行事が開催できたことは大変喜ばしい限りです。私自身も文化祭やゴルフ大会に出場させていただいた他、フィエスタ・スポーツ大会のソフトボール大会も観戦させていただきました。参加されていた皆様の一体感と団結力が強く印象に残りました。

マニラ日本人会が様々なイベントを通して、引き続き在住の

日本人コミュニティの結束を一層強化し、日本人社会のより所と
なっていくことを心から願っております。

また、日本国大使館として、最も重要な任務は、フィリピンに
いらっしゃる日本人の皆さまの安全・安心・健康・発展のために
貢献することであると考えています。お困りのことがあれば、何
なりとお気軽にご相談ください。

最後に、マニラ日本人会のますますのご発展と、会員の皆様
のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

新年のご挨拶
マニラ日本人会会長
高野 誠司

高野会長のお写真

マニラ日本人会会員の皆様、謹んで新春のお祝いを申し上げます。

2020年初頭から猛威を振るったコロナ禍もほぼ沈静化し、去年はマニラ日本人会におきましても、全てのイベントを完全復活し、盆踊り大会や各種スポーツ大会、文化祭等を皆様に楽しんで頂くことができました。図書館や診療所の運営も通常に戻り、一時パンデミック前1/3となる150人まで落ち込んでいたマニラ日本人学校の生徒数も400人以上に回復しております。

コロナ禍は既に遠い昔のことにように思えてしまっていますが、ほんの1-2年前の話です。当たり前だと思っていた日頃の行事やコミュニケーション一つ一つが実は大切な瞬間だったのだと改めて気づかせてくれたのではないのでしょうか。

さて、昨年フィリピンはインフレ要因等により若干経済成長は鈍化しましたが、それでもアセアン諸国ではトップクラスの成長率を維持し、就任2年目となったマルコス政権も若干支持率は落ちてはいるものの安定した政権運営を継続しています。基本的な経済政策は前政権から踏襲し、堅実な閣僚の人選に加えて、より民間の活力を活かそうとする取り組みにより、国内外の投資家からは一層熱い視線が向けられています。日本との友好関係も政治・経済両面で強化され、ある調査によればフィリピン人にとって日本が最も信頼できる国、とも言われています。

そうした環境下、マニラ日本人会におきましても、今後、多くの邦人の皆様がマニラに仕事・生活の場として来られることを想定し活動を更に活性化し、会員の皆様がこの地でより安全・安心に、公私に充実した生活を送ってもらえるようサービスを継続・拡充していく所存です。

日本人会では、①会員相互の親睦、②会員の安全確保・生活の向上、③日比友好の促進の三つの柱を目的として活動をしています。

①については、昨年スポーツイベントの一つに「フットサル大会」が加わりましたが、こうした新たな取り組みにより、より会員相互の親睦を深める機会を増やして参ります。②については、当地に赴任してこられるご家族を含む皆様向けに初開催した「生活オリエンテーション」等の取り組みを通じ皆様の生活の質の向上を図っていくと共に、長らく手つかずになっていたITインフラを整備し、情報発信の強化や各種手続きの簡素化を図って参ります。③については「盆踊り大会」や「文化祭」等に当地のフィリピン人の方々にも従来以上にご来場頂き、日本の良き文化を知って頂くことを図る所存です。

この機会にマニラ日本人会所属施設の紹介を少しさせていただきます。先ず「診療所」ですが、日本人会事務所があるTrident Tower23階で月曜日から土曜日まで開業しているクリニックです。日本人スタッフが常駐し、アメーバ赤痢等当地特有の疾病にも迅速に検

査対応等可能。過去30年間に1,000人以上の邦人の出産を手助けしてきた産婦人科も好評を頂いています。

次に「図書館」です。同じくTrident Tower23階にあり、13,000冊の蔵書、2,000枚のDVDを取り揃えています。フィリピンに因んだ多くの書物に加え、日本で話題のミステリーや自己啓発書など新刊本も毎年購入していますので是非ご利用下さい。

「マニラ日本人学校」は現在BGCに位置しており先述の通り小中併せて400人を超える生徒が在籍しています。当地土地管理公社（BCDA）との25年間の土地リース契約が2025年3月に切れますが、昨年11月に同公社との間で2050年までのリース契約を新たに締結することができました。本件交渉にあたっては越川大使をはじめ日本国大使館関係者の皆様より多大なご支援を賜りこの場を借りて厚く御礼を申し上げます。今後も、子供達が安心して学べる環境を整え「世界一の日本人学校」を目指すと同時に、日本人会の貴重なアセットとして、既に行われている盆踊り大会やスポーツ行事に加え、空き時間に日本人会所属のスポーツ団体に練習場所として校庭を使用頂くことも検討して参ります。

最後に、マニラ日本人会は大勢のボランティアの皆様の支援に支えられて活動を継続しています。各種スポーツ・文化イベントでの裏方仕事、本誌「まぶはい」の編集、図書館の運営支援等、皆様の熱いパッションと御貢献に改めて御礼申し上げます。会員の皆様におかれましても、ご興味があればボランティア活動に参加

頂くことをお願いすると共に、日本人会をよりよくするためのアイデア等がございましたら事務局までご一報頂ければと存じます。また、各種同好会活動にも是非一度、参加してみてください。

会員の皆様からの率直な御意見に耳を澄まし、かつご協力を頂戴しながら、これからも日本人会活動をアグレッシブに進めて参りたく、改めまして宜しくお願ひ申し上げます。

今年1年が会員の皆様にとって、幸多き年になることを心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。